

台風15号を踏まえた高波対策・護岸復旧の検討体制

東京湾における高波対策検討委員会

横浜港護岸復旧工法検討会

関東地方整備局

横浜市

- 今後、東京湾内で発生しうる最大クラスの高波を想定した護岸の断面設計手法……設計波、波力の作用、設計手法 等の見直し

- 被災施設の復旧……再度災害の防止、背後利用を考慮、速やかな復旧 等

- 台風15号による東京湾内の被災整理

特に港湾施設の被災が顕著な横浜港（本牧Dふ頭、金沢区福浦等）の被災整理

○主な検討項目

- ①台風15号による発生波浪の整理
（気象・海象観測データの整理、波浪推算 等）
- ②高波による被災メカニズムの検証
- ③最大クラスの高波を考慮した設計波の見直し
（横浜港をケーススタディ）
- ④高波の波力を考慮した護岸（パラペット等）の設計手法の検討

○主な検討項目

- ①横浜港の被災箇所条件整理（背後地及び前面水域の利用、排水処理等）
- ②護岸復旧方針（越波許容の有無、天端高等）
- ③復旧断面・復旧工法の検討（再度災害防止を考慮）
- ④復旧計画

